

## 学会行事

### 学会奨励賞

第4回 日本社会関連会計学会奨励賞は、審査の結果、下記の論文が選ばれました。

大坪史治・黄 海湘「CSR報告書等の変遷と重要課題の探索—単語に着目した属性分析—」『社会関連会計研究』第26号所収

＜受賞理由＞本論文は、言語分析技術（テキストマイニング）を活用して、20年間のわが国における1,366組織のCSR報告書等に使用されている単語とそれらの出現回数をリストアップし、これを経年的かつ属性別に観察して、作成者側がより将来指向的にリスク管理、戦略、経営ビジョンを強調し、財務的ステイクホルダーを重視する傾向が強まっていること、他方で、環境負荷情報や環境にかかわる専門用語の出現頻度がCSR報告において著しく後退していることを、実際の単語の使用頻度から明らかにした点がユニークであると評価された。時代の変化・傾向を読み取る一つの客観的手法としてテキストマイニングを社会関連会計の領域で示したことも高く評価された理由の一つである。作成者側はたとえ無意識であったとしても、企業のCSR報告に記述される用語・単語には時代背景が織り込まれていることに改めて気付かされる。なお、統計処理の適切性にやや問題があるとの指摘があった。また、集計した段階であり、この結果を以て今後これをどのように発展させるのか、学術的完成度という点ではまだまだではないか、との意見もあったが、研究の方向性も含めての奨励賞という主旨には沿っているも

のとし、受賞論文として選出された。

岡 照二・西谷公孝「カーボンSBSCフレームワークの構築とその有効性の検証」『社会関連会計研究』第27号所収

＜受賞理由＞本論文は、CO2の排出量削減と会計利益の増加を同時に目指す、エコエフィシエンシー指標の一つである「カーボン利益率(ROC)」を用いて、これを向上させるためのサステナビリティ・バランスト・スコアカード(SBSC)のフレームワークを構築し、その有効性を実証した点がユニークである。そして、SBSCが内部管理目的だけでなく、外部報告目的にも利用可能であることも示唆し、SBSCの有効活用に向けた研究の広がりをも期待させるものである。分析結果には今後、産業別の特徴を分析する余地もあり、その方向での発展可能性をも有している。なお、先行研究とおおむね同じ枠組みを用いており、新規性・創造性には欠けるとの指摘もあったが、審査委員からは、論文の信頼性や方法論については高い評価を得られた。

### 第28回年次大会

2015(平成27)年10月24日(土)～10月25日(日)

会場：亜細亜大学

大会準備委員長：大島正克（亜細亜大学）

第1日：10月24日（土）

10:30～12:30 理事会（2号館6階 多目的室）

12:00～ 受付（2号館2階 224教室前）

12:40～13:30 会員総会（2号館2階 224教室前）

【スタディ・グループ報告】（2号館2階 224教室前）

司会：飯野幸江（嘉悦大学）  
13:35～14:10 第1報告（報告25分・質疑応答10分）

研究代表者：水野一郎（関西大学）  
「付加価値会計の総合的研究」（最終報告）  
14:15～14:50 第2報告（報告25分・質疑応答10分）

研究代表者：大島正克（亜細亜大学）  
「ESG情報に求められる会計の役割」（中間報告）

【自由論題報告】各報告25分・質疑応答10分

<第1会場>（2号館3階 234教室）

司会：宮地晃輔（長崎県立大学）  
15:00～15:35 第1報告  
村井秀樹（日本大学）  
「自然資本会計の測定と課題：北海道下川町の実態調査からの知見を中心に」

15:40～16:15 第2報告  
Eckhard Hitzer（国際基督教大学）  
Nobuyuki Miyazaki（国際基督教大学）  
“Prospects of Modern Wood Gas Cogeneration Renewable Energy Supply in Japan: Case Study of ICU”

<第2会場>（2号館3階 235教室）

司会：上田俊昭（明星大学）  
15:00～15:35 第1報告  
金 率弘（神戸大学大学院博士後期課程）  
「CSR経営におけるテンションの管理」  
15:40～16:15 第2報告  
阪 智香（関西学院大学）

「会計データのビジュアライゼーションによる格差の証拠」

<第3会場>（2号館4階 241教室）  
司会：吉岡 勉（産業能率大学）

15:00～15:35 第1報告  
筑波由美子（亜細亜大学大学院博士後期課程）  
「持続可能な資源情報と環境管理会計情報の可能性に関する一考察」

15:40～16:15 第2報告  
大昌昌明（北星学園大学）  
張 英春（北星学園大学交流教授）  
張 新悦（北星学園大学大学院修士課程修了）  
「中国における一株あたり社会貢献値の吟味」

【特別講演】16:20～17:05（2号館2階 224教室）  
司会：川島和浩（苫小牧駒澤大学）  
講演者：粕川哲夫（日本CCS調査株式会社）  
「苫子牧におけるCCS実証プロジェクトについて」

【記念講演】17:10～17:55（2号館2階 224教室）  
司会：石崎忠司（松蔭大学・中央大学名誉教授）  
講演者：本山和夫（東京理科大学理事長、前アサヒ飲料株式会社代表取締役社長）  
「アサヒグループHDの企業価値向上の取組について」

18:10～19:40 懇親会（2号館6階 多目的室）

第2日：10月25日（日）  
【自由論題報告】各報告25分・質疑応答10分

＜第1会場＞（2号館3階 234教室）

司会：村井秀樹（日本大学）

9:30～10:05 第1報告

暮石秀樹（愛知学院大学大学院博士後期課程）

「米国ESOPと日本版ESOP：制度と効果」

10:10～10:45 第2報告

家串哲生（山形大学）

「農作業別原価計算に基づく農産物の原価算出と経営分析・診断」

＜第2会場＞（2号館3階 235教室）

司会：平岡秀福（創価大学）

9:30～10:05 第1報告

増子和起（神戸大学大学院博士後期課程）

「不確実性の組織化とその帰結：リスクマネジメントの強化とアカウンタビリティの拡張」

10:10～10:45 第2報告

中尾悠利子（公立鳥取環境大学）

「サステナビリティ報告のテキスト表現分析」

＜第3会場＞（2号館4階 241教室）

司会：水野一郎（関西大学）

9:30～10:05 第1報告

蒙 雪超（創価大学大学院博士後期課程）

「環境配慮型設備投資のキャッシュフロー分析：中国中小鉄鋼企業A社のケース」

10:10～10:45 第2報告

小村輝代（University of Southern Queensland）

“Effectiveness of Online Teaching of Accounting at University Level”

＜第4会場＞（2号館3階 242教室）

司会：大原昌明（北星学園大学）

9:30～10:05 第1報告

仲 伯維（亜細亜大学非常勤講師）

「中国企業のESGに関する報告書の回顧と展望：国連グローバル・コンパクト（GC）のCOPに関連」

10:10～10:45 第2報告

呉 綺（神戸大学大学院博士後期課程）

「サステナビリティ・マネジメントから見たコーポレートガバナンス：システムティック・レビューの分析視角を用いて」

【統一論題報告】 10:55～12:25（2号館3階224教室）

テーマ：「環境会計の再検討：過去・現在・未来」  
座長：湯田雅夫（獨協大学）

10:55～11:25 鈴木俊明（CEAR産業環境管理協会登録 環境審査員補）

「実務の現場からのISO14001実践報告」

11:25～11:55 向山敦夫（大阪市立大学）

「情報開示の社会的機能：環境情報と従業員情報を中心に」

11:55～12:25 宮崎修行（国際基督教大学）

「シュマーレンバッハの「環境会計無用論」の現代的意義：無用の用と不易流行の理」

12:25～13:20 休憩

13:20～15:00 【統一論題ディスカッション】

東日本部会

2015（平成27）年7月4日（土）

会場：専修大学神田校舎

大会準備委員長：黒川保美（専修大学）

【基調講演】13:45～14:35 (7号館3階 731教室)

司会：黒川保美 (専修大学)

講演者：吉森 賢 (横浜国立大学名誉教授)

「ドイツとフランスの企業統治：その実効性と限界」

<第1セッション> 各報告25分・質疑応答10分

司会：大島正克 (亜細亜大学)

14:40～15:15 第1報告

筑波由美子 (亜細亜大学大学院)

「水資源マネジメント情報の開示に関する一考察：アジアの水環境と企業の社会的貢献に関連して」

15:15～15:50 第2報告

仲 伯維 (亜細亜大学大学院博士後期課程修了)

「中国における環境資源会計の動向に関する一考察」

休憩20分

<第2セッション> 各報告25分・質疑応答10分

司会：川島和浩 (苫小牧駒澤大学)

16:10～16:45 第3報告

黒木 淳 (横浜市立大学)

尻無濱芳崇 (山形大学)

「社会福祉法人における裁量行動とインセンティブの検討」

16:45～17:20 第4報告

長岡 正 (札幌学院大学)

「管理会計における物流の考察」

17:30～19:30 懇親会

(ダイニングカフェ・エスペリア)

西日本部会

2015 (平成27) 年6月27日 (土)

会場：名城大学天白キャンパス 共通講義棟北403

大会準備委員長：伊藤秀俊 (名城大学)

<第1セッション> 各報告25分・質疑応答10分

司会：向山敦夫 (大阪市立大学)

13:35～14:10 第1報告

都筑 新 (愛知工業大学大学院経営情報科学研究科博士後期課程)

「建設業者と金融機関との関係性に関する考察：主として融資審査制度について」

14:10～14:45 第2報告

天野輝芳 (一般社団法人 京都産業エコ・エネルギー推進機構)

二井誠史 (医療法人社団 まついクリニック)

「マテリアルフローコスト会計と環境マネジメントシステムの統合モデルの精緻化：透析医療の現場の視点からの改造の試み」

14:45～15:20 第3報告

中澤優介 (愛知学院大学)

「アカウントビリティの「開かれ」：暴力批判の視点から」

休憩20分

<第2セッション> 各報告25分・質疑応答10分

司会：朴 恩芝 (香川大学)

15:40～16:15 第4報告

岡 照二 (関西大学)

中嶋道靖 (関西大学)

「自然資本情報の企業経営における意義と開示情報としての可能性」

---

16:15～16:50 第5報告

東 健太郎 (立命館大学)

「日本企業におけるコーポレート・フィランソロピー：東日本大震災直後の被災者支援行動に収益性と連帯感が与えた影響」

16:50～17:25 第6報告

Tazul Islam (Kobe University, PhD)

Katsuhiko Kokubu (Kobe University)

Michiyuki Yagi (Kobe University)

Kimitaka Nishitani (Kobe University)

“Corporate Social Reporting and Legitimacy in the Banking Industry: Evidence from Bangladesh”

17:25～17:30 閉会の挨拶

17:45～ 懇親会